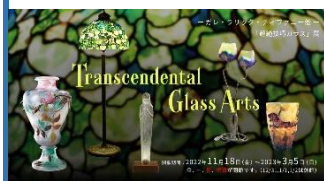


プレスリリース

2022年11月吉日
みらい美術館



みらい美術館 企画展 開催のお知らせ

「超絶技巧ガラス展」

～ガレ、ラリック、ティファニー、を中心に～

2022年11月18日(金)～2023年3月5日(日)

(但し12/30～1/2は閉館)

午前10時～午後5時(入館は閉館の30分前まで)

開館日:金、土、日、祝日

繊細かつダイナミックにガラスが奏でる「超絶技巧」



「紫陽花」ランプ
ルイス・ティファニー

エミール・ガレの登場と共に幕を開けた「アール・ヌーヴォー」の時代。ガレは「ガラス彫刻技法」などを駆使した作品を制作し、ガラスを芸術の域に高めました。ガレと競い合うように様々な作家が独特な作品を生み出していきました。アメリカを代表する宝石商の長男ルイス・カムフォート・ティファニーはガラス作家の道を選びました。17世紀から途絶えていたステンドグラスの技法を再興、昇華させ「歴史上最高のステンドグラス作家」と呼ばれるに至りました。古代ローマ時代(紀元前1世紀)に失われた「パート・ド・ベール技法」がフランスのセーブル国立製陶所が中心となり復元されました。歯科技工士であったアルジー・ルソーはこの技法をさらに発展させ評判を得ました。アール・ヌーヴォーの時代に宝飾デザイナーとして活躍したルネ・ラリックはアール・デコ期にはガラス作家に転身します。ガラスを型に入れて成形する方法で質の高いガラス作品の量産に成功し、1925年にパリで開催された国際博覧会「アール・デコ展」に噴水などガラスのモニュメントを出品し世界的な評価を得ました。本展では超絶技巧によって生み出されたアール・ヌーヴォー、アール・デコ期のガラス作品約50点を展覧いたします。どうぞこの機会にガラス芸術の世界をお楽しみ下さい。



「獅子」花器
アルジー・ルソー



「フランスの薔薇」大壺
エミール・ガレ



「泉の精」立像
ルネ・ラリック

公益財団法人 鶴見輝彦育英会 みらい美術館
〒220-0011 神奈川県横浜市西区高島1-2-15

みなとみらい学園ビル 2F TEL 045-222-8696 FAX 045-222-8664

<http://tsurumi-ikueikai.jp/miraimuseum/>

担当: 広報 岡田 早苗 (オカダ サナエ) 携帯090-9157-3383 okada@ycdc.ac.jp